

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社 日本陸送 寄居営業所	階数	地上2F
建設地	埼玉県大里郡寄居町大字赤浜字牛	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	70 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,660 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年6月22日
敷地面積	19,240 m ²	作成者	川田工業株式会社一級建築士事務所
建築面積	7,018 m ²	確認日	2020年6月22日
延床面積	12,219 m ²	確認者	川田工業株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水器具の採用や緑化を積極的にを行い、環境負荷の低減に配慮している。 	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明の細かな点滅区分計画により、室内の明るさや照明の制御性に配慮している。 ・全館禁煙とし、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・高い階高を確保し、空間のゆとりを配慮している。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和に配慮した駐車場計画としている。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される